

2024年11月期 決算説明会

2025年2月4日
株式会社ノダ

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

目次

- グループの状況 P 3
- 連結業績概況 2024年11月期 P 9
- 連結業績予想 2025年11月期 P23
- 中長期的な成長戦略 P37
- 配当予想 P42
- ESGに関する取り組み P44

グループの状況

グループの出資状況

【連結決算対象会社の状況】

《連結子会社》

アドン(株)

(株)ナフィックス

スラインダー社 (インドネシア)

石巻合板工業(株)

アイピーエムサービス(株) * * 石巻合板工業(株)の100%子会社

※出資比率：石巻合板工業(株)は80%、それ以外は100%

《持分法適用関連会社》

サンヤン社 (マレーシア)

※出資比率：49%

【上記以外の状況】

《非連結子会社》

(株)巴川製作所

(株)アリモト工業

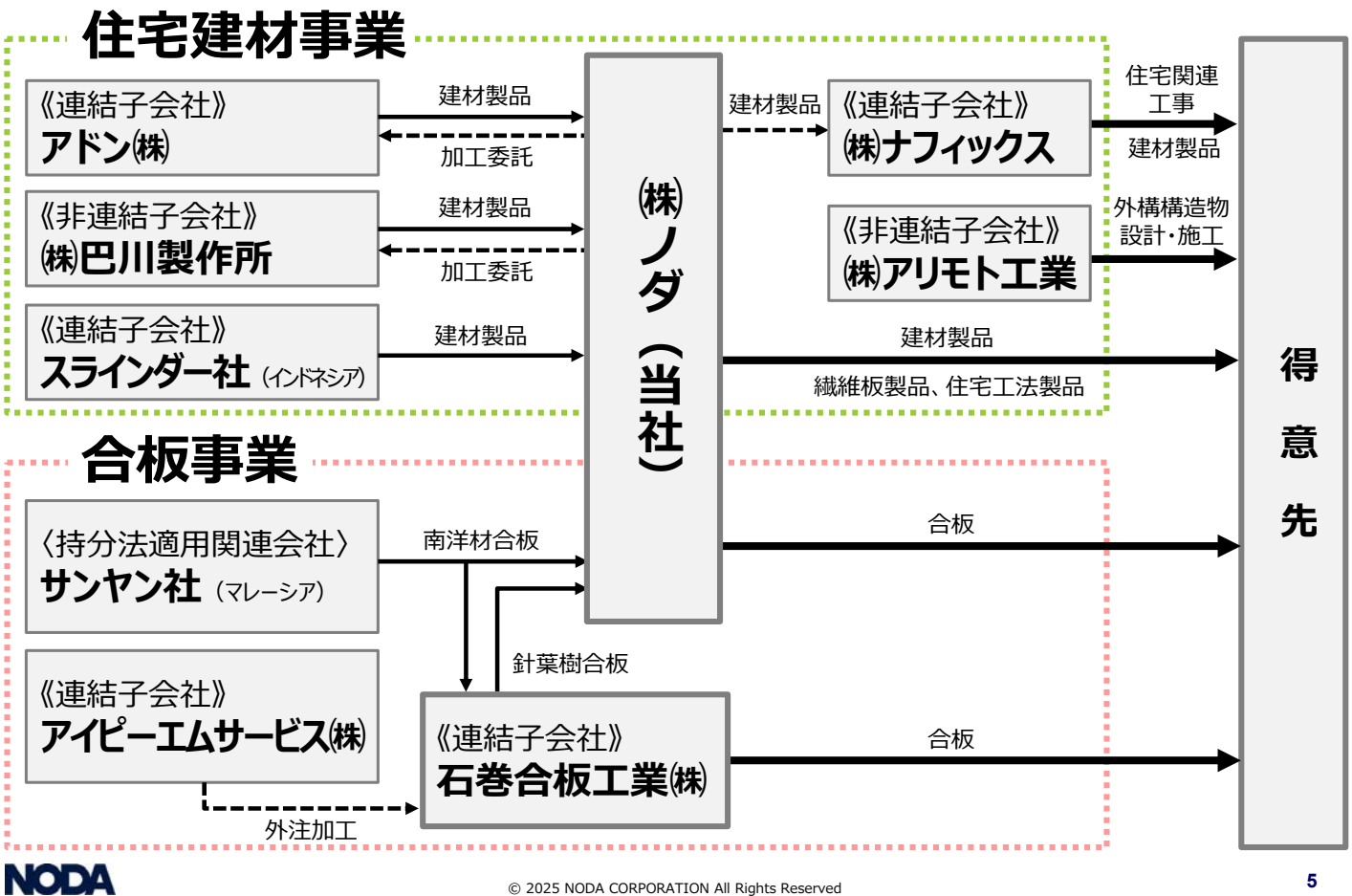
※出資比率：いずれも100%

《資本提携》

IFI社 (インドネシア)

※出資比率：7.4%

グループの事業系統図



グループの事業分野（住宅建材事業）



グループの事業分野（合板事業）

国産針葉樹合板

構造用ヒノキハイブリッド



構造用針葉樹合板



【生産拠点】

（株）ノダ 富士川工場
（静岡県富士市）



石巻合板工業（株）
（宮城県石巻市）



サンヤン社
（マレーシア）



オールヒノキ（無節）



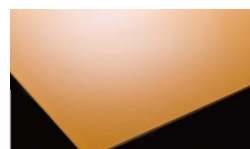
単板積層材（LVL）



ラワン構造用合板



塗装型枠用合板



輸入南洋材合板

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

7

グループの拠点概要

（2024年11月末現在）

営業拠点
49ヶ所

生産拠点
7ヶ所

ショールーム
7ヶ所

国内 4ヶ所
海外 3ヶ所
※資本提携先を含む



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

8

連結業績概況

2024年11月期

連結業績ハイライト（総括）

減収減益

(金額単位：百万円)	前期実績	当期実績	前期比
売上高	73,227	67,039	▲6,188 (▲8.5%)
営業利益	4,701	444	▲4,257 (▲90.5%)
経常利益	5,019	675	▲4,344 (▲86.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,834	▲4,612*	▲7,446 (—)

* 減損損失の計上や繰延税金資産の取り崩しによる影響

減損損失の計上

住宅建材セグメントの収益性が著しく低下

ノダ単体は2期連続で営業赤字となったため、同セグメントの固定資産について回収可能性を監査法人と慎重に検討

住宅建材セグメントのうち、

ノダ単体の固定資産（機械装置）の簿価を減額

減損損失2,112百万円を特別損失に計上

実質的な支出を伴わず、当連結会計年度のキャッシュ・フローには影響なし

住宅業界を取り巻く事業環境

住宅需要の低迷

- ・建築費高騰や物価上昇、職人不足等を背景に、新設住宅着工戸数は低水準で推移（特に戸建住宅の低迷が顕著）
- ・住宅資材全般の販売量が減少し、競争が一層激化

弱含みが続いた国内合板相場

- ・期を通じて生産調整を継続し、在庫水準の適正化に尽力
- ・市況は弱含みが続き、荷動きは低調に推移

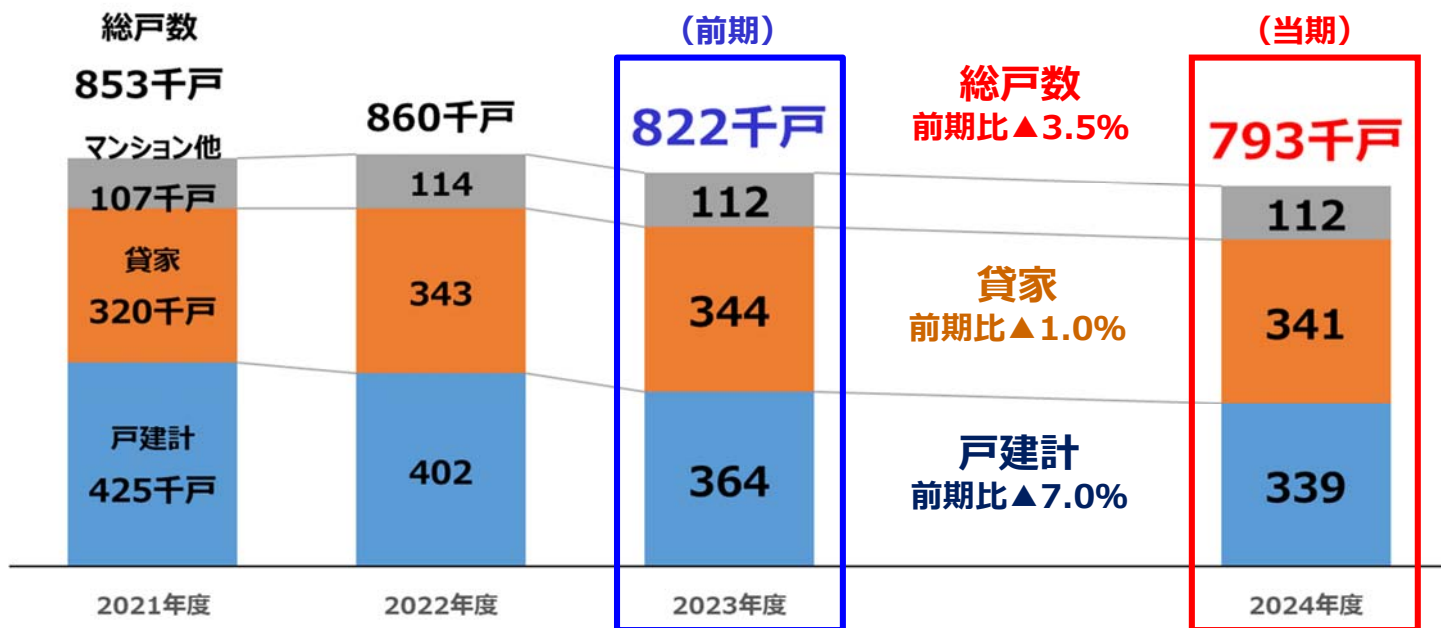
製造コストの高止まり

- ・円安や物流2024年問題などにより、原材料・副資材価格や物流費等のコスト高が継続

新設住宅着工戸数の状況（12月～11月）

- ・ 総戸数は前期比▲3.5%
（内訳：持家▲4.3%、分譲戸建▲11.4%、貸家▲1.0%）
- ・ 当社グループの販売に関係深い「持家＋分譲戸建」は同▲7.0%

※戸数は単位未満切り捨て

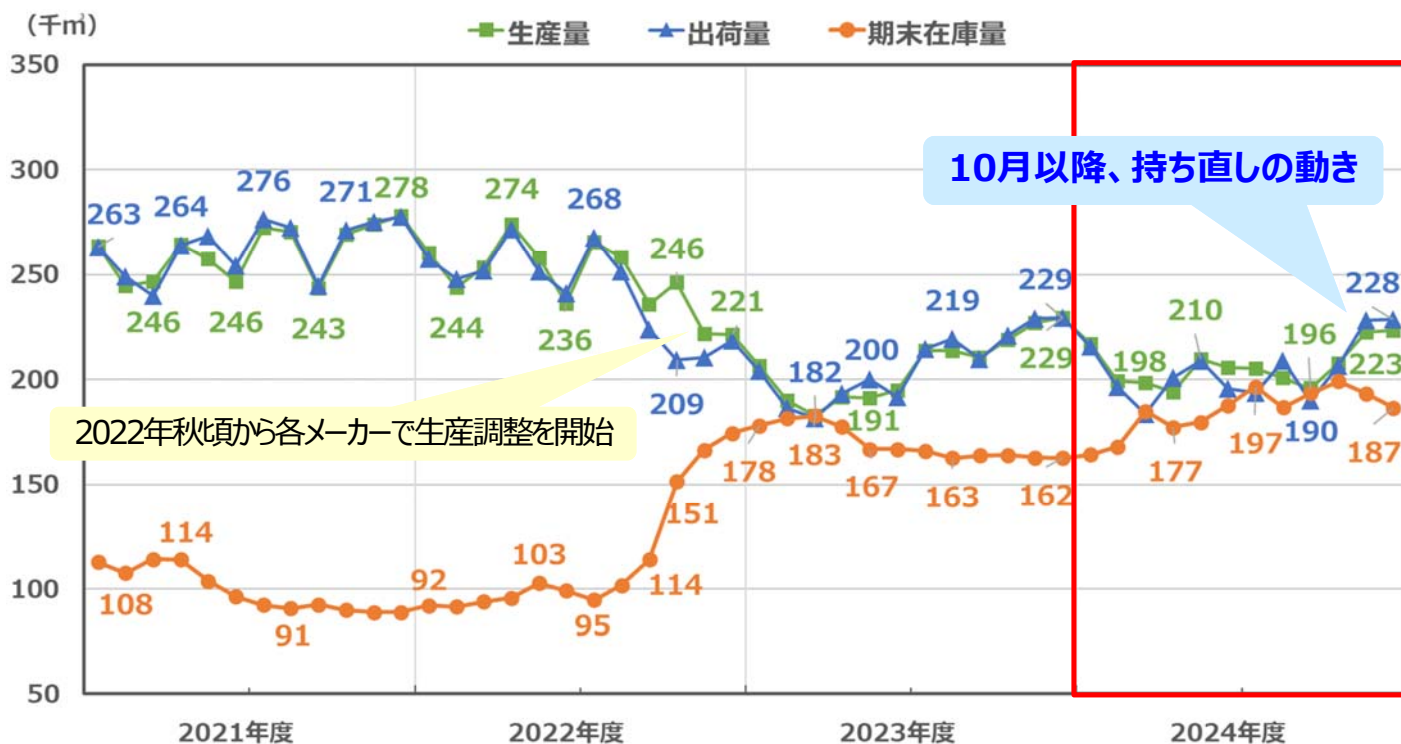


資料) 国土交通省「住宅着工統計」

※各年度の期間は、12月～11月の12ヶ月間を示す

国産針葉樹合板 生産・出荷・在庫 推移

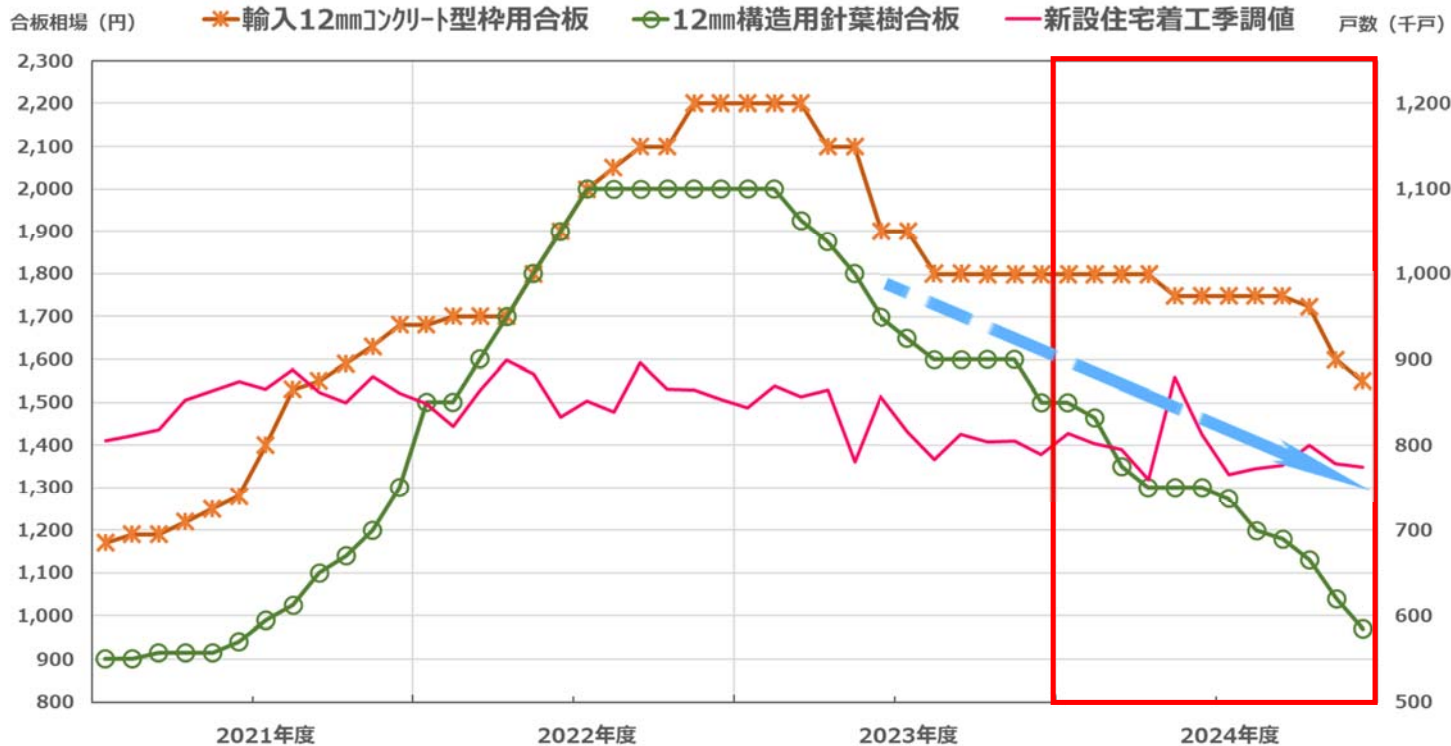
出荷量に持ち直しの動きが見られたものの、本格的な回復には至らず



資料) 農林水産省「合板統計」

市場環境認識（合板相場）

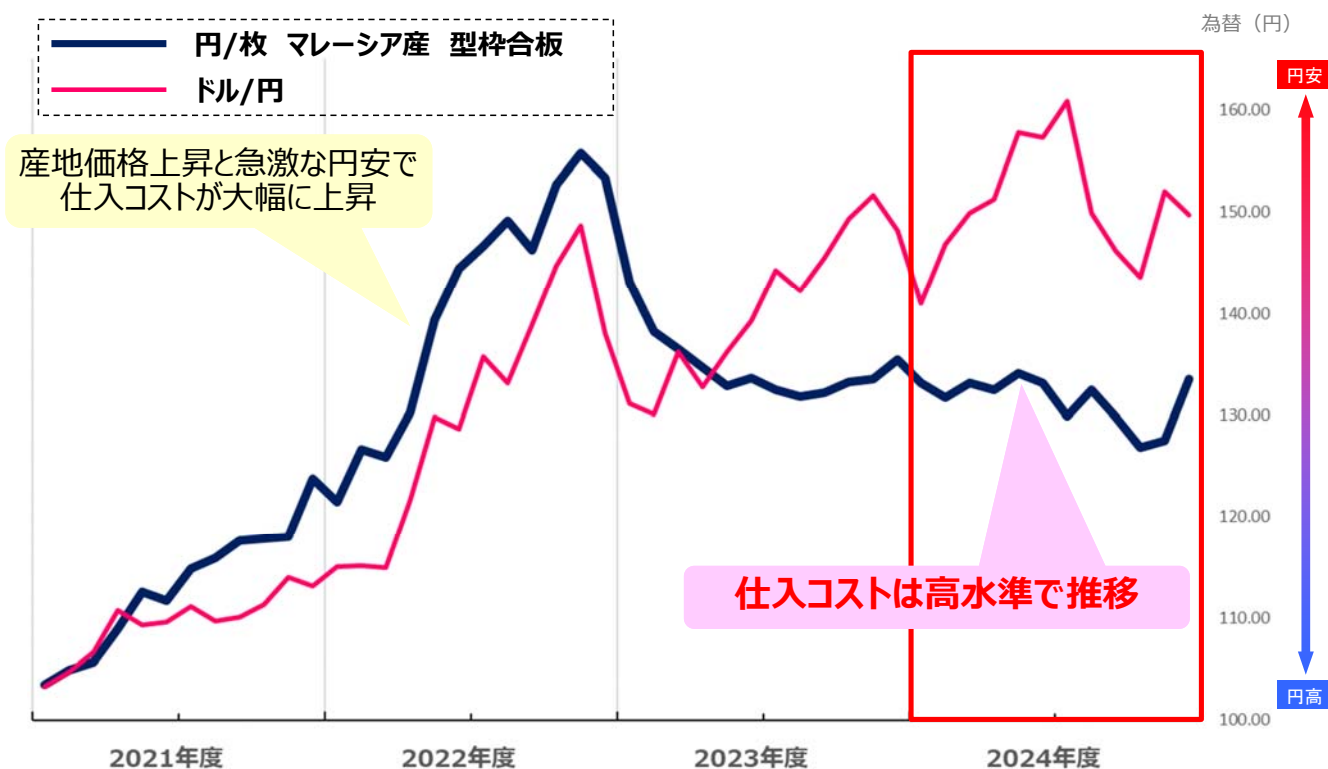
依然として合板需要は低迷しており、相場は弱含みで推移



資料) 日刊木材新聞社「相場表」(針葉樹合板、輸入合板)、国土交通省「住宅着工統計」

輸入南洋材合板 仕入コスト推移

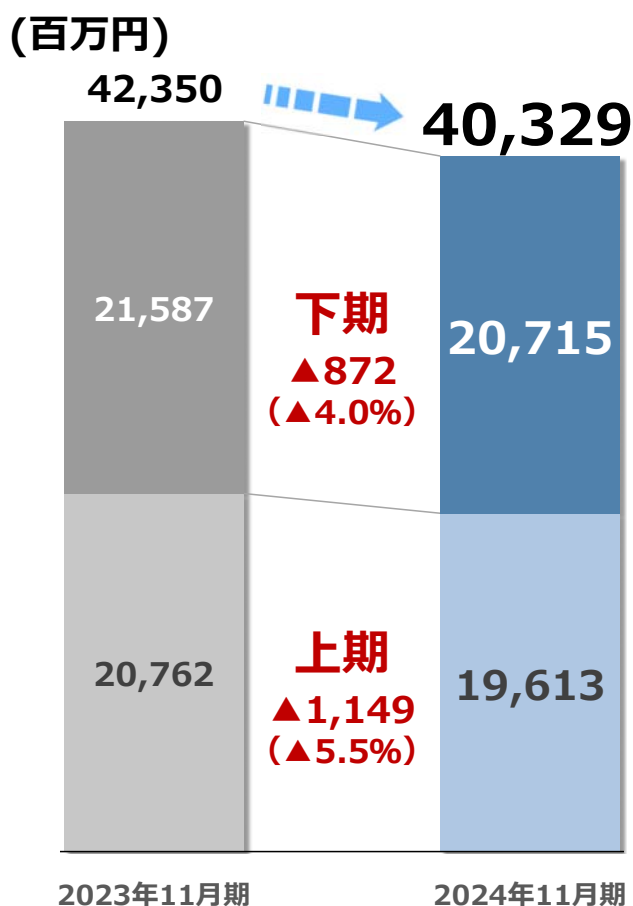
円安等により仕入コストが高止まりとなり、採算性は悪化



住宅建材事業

2024年11月期

連結業績のポイント（売上高）



住宅建材事業〈要因〉

前期比 ▲2,021 百万円
(▲4.8%)

・販売量の減少

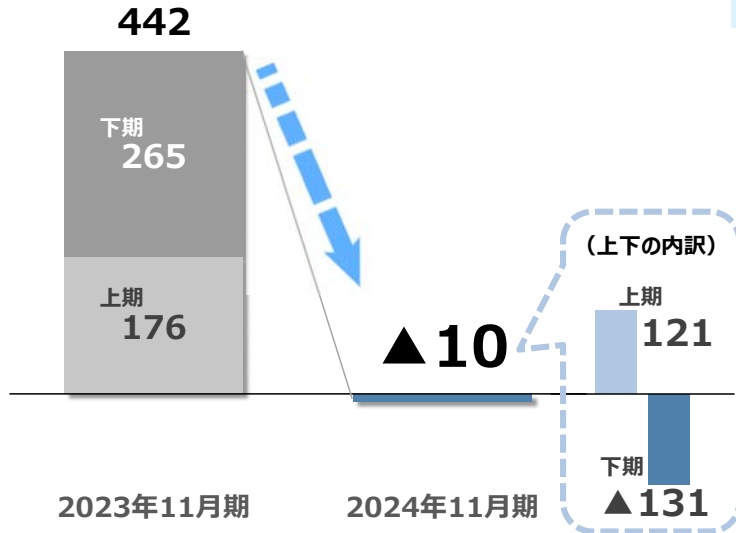
- ✓ 建材・MDF全般で減少
- ✓ 戸建を中心に住宅着工が低迷
- ✓ 貸家市場の開拓に注力
 - ・賃貸向け売上は増加
 - ・戸建の減少分をカバーするには至らず

連結業績のポイント（セグメント利益）

(百万円)

住宅建材事業〈要因〉

前期比 ▲452 百万円
(— %)



・販売量の減少

✓ 減産により製造単価が上昇

・コスト高の継続

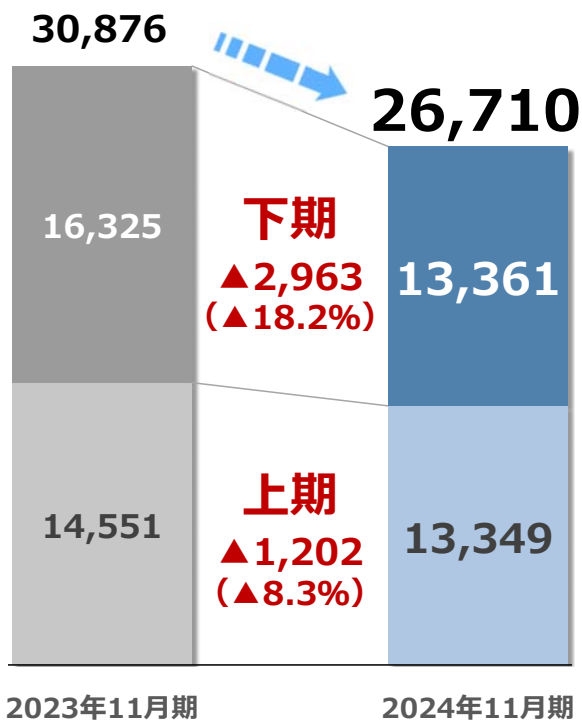
- ✓ 原材料・副資材コストの高止まり、物流コストの上昇
- ✓ 自助努力では吸収しきれず、競争激化により十分な販売価格改定もできなかった

合板事業

2024年11月期

連結業績のポイント（売上高）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前期比 ▲4,166 百万円
(▲13.5%)

- 販売量は低水準で推移
 - ✓ 住宅着工の減少などにより、国産・輸入とも需要が低迷
 - ✓ 10月以降、国産針葉樹合板の出荷に回復の兆し
- 販売価格は弱含み続く
 - ✓ 期を通じて生産・入荷調整を継続したが、下げ止まらず

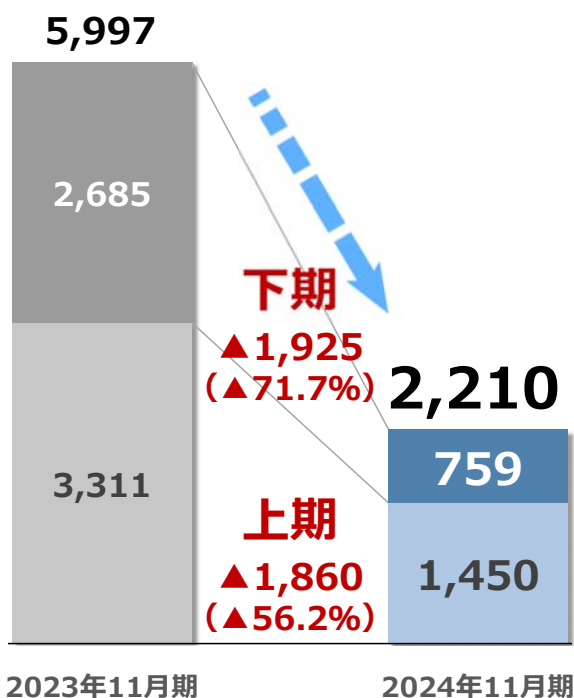
NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

21

連結業績のポイント（セグメント利益）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前期比 ▲3,786 百万円
(▲63.1%)

- 販売量は低水準で推移
- 販売価格は弱含み続く
- コスト高の継続
 - ✓ 円安により輸入合板の仕入コストが高止まり
 - ✓ 接着剤価格や物流コストの上昇

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

22

連結業績予想

2025年11月期

連結範囲の変更、セグメントの名称変更

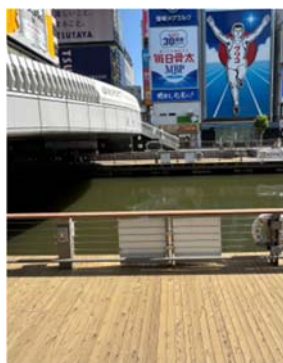
2025年11月期より

- (株)アリモト工業を連結の範囲に含める
- 「住宅建材事業」から「木質建材事業」へ変更

株式会社アリモト工業 概要

本社・工場	鹿児島県 鹿屋市
創業・設立	1952年4月
売上高	492百万円(2024年度)
事業内容	木製外構構造物の設計・施工・製造・販売・メンテナンス等

【施工事例】



道頓堀 遊歩道

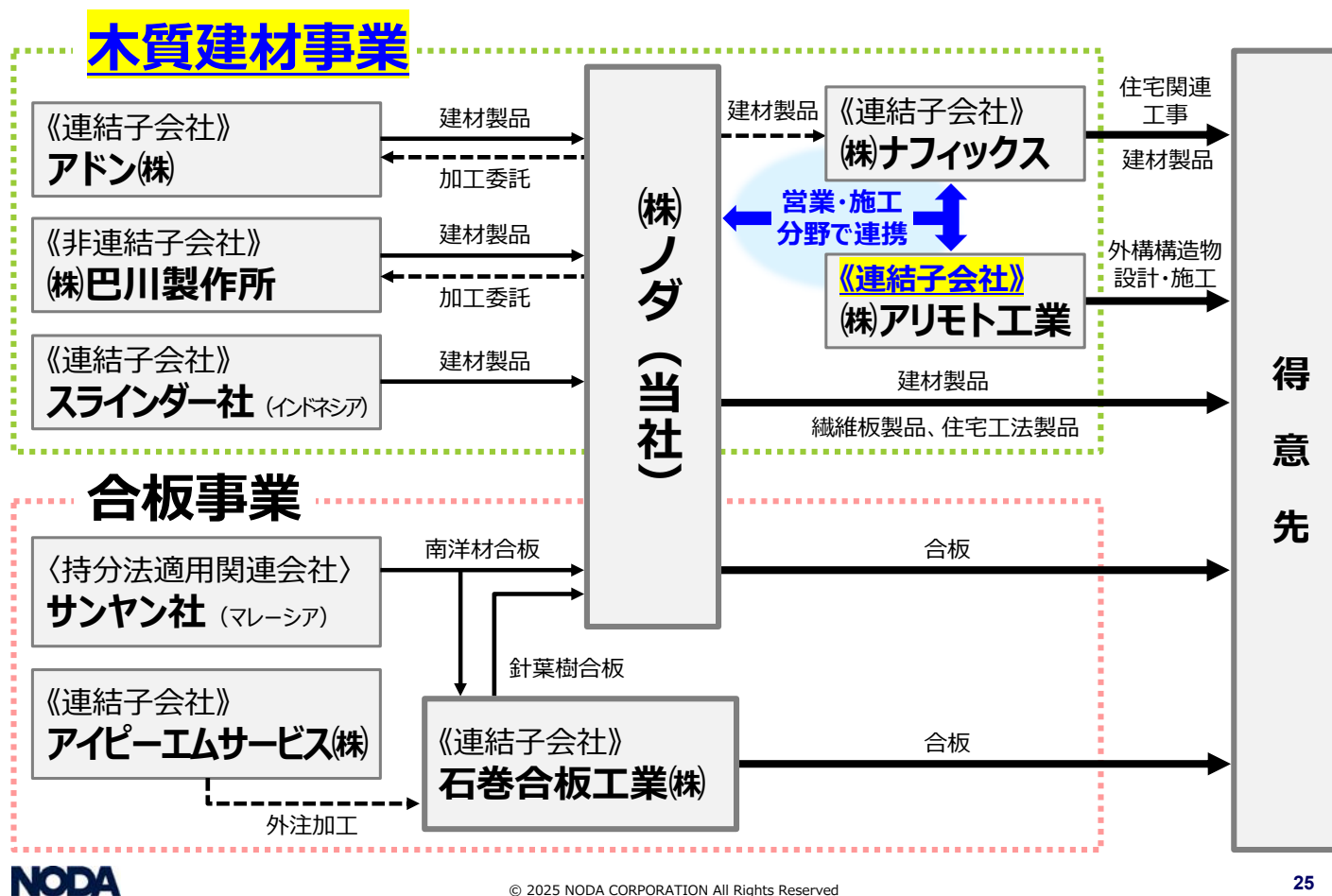


熊本城 特別見学通路



FUJIMI CAFE ウッドデッキ

グループの事業系統図（変更後）



連結業績予想ハイライト（総括）

増収増益を目指す

	通期予想	前期比
売上高	67,900 百万円	+ 860 百万円 (+ 1.3%)
営業利益	600 百万円	+ 155 百万円 (+ 34.9%)
経常利益	800 百万円	+ 124 百万円 (+ 18.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	400 百万円	+ 5,012 百万円 (—)

2025年11月期の事業環境

● 住宅需要

- 新築住宅着工戸数の本格的な回復は見込めず
- ただし、住み替え需要は底堅く、貸家やリフォームは比較的堅調な推移が見込まれる

● 法改正（建築基準法、建築物省エネ法）

- 省エネ化や構造計算に関する規制が強化
- 優れた耐震性能や透湿性能をもつ耐力面材（耐震壁）の需要が高まると期待できる

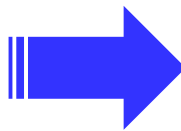
● 合板相場

- 若干の反動（上振れ）の後、横ばいでの推移が見込まれるが、先行きは依然として不透明

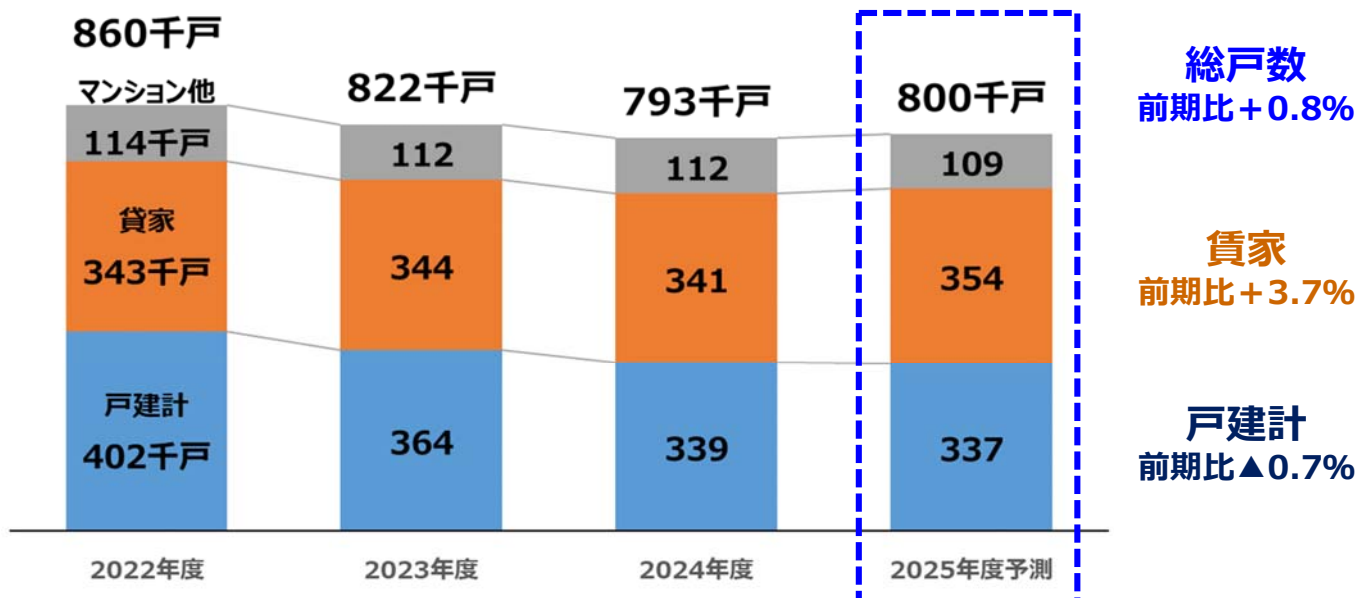
2025年度 新設住宅着工予測（12月～11月）

※戸数は単位未満切り捨て

2024年度 住宅着工戸数
793千戸



2025年度 住宅着工戸数
800千戸(予測)
貸家は比較的堅調に推移か



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

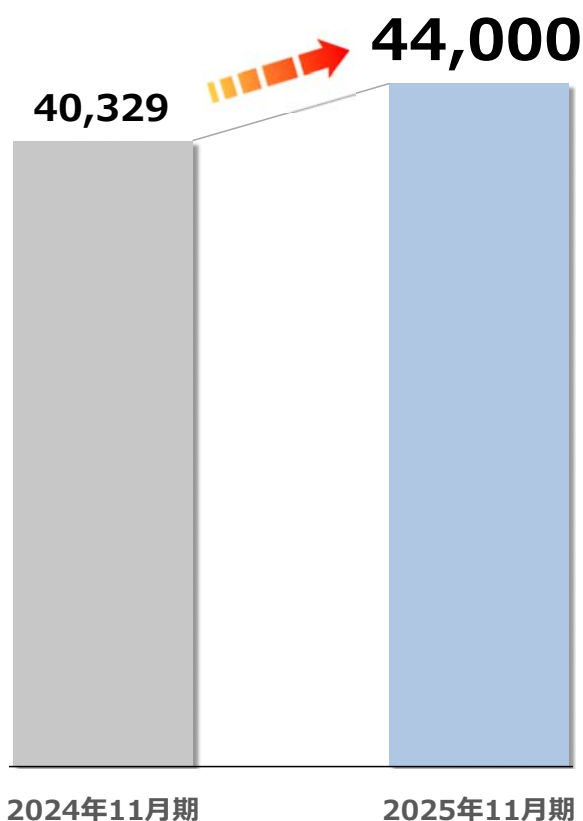
※各年度の期間は、12月～11月の12ヶ月間を示す

木質建材事業

2025年11月期

連結業績予想のポイント（売上高）

(百万円)



木質建材事業

前期比 +3,670 百万円
(+9.1%)

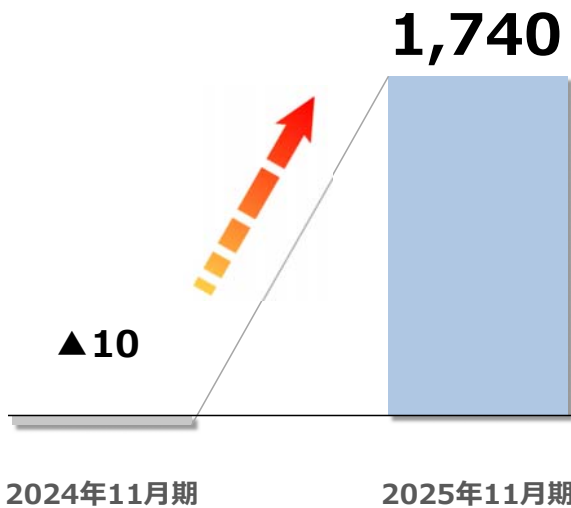
- 貸家・リフォーム市場のさらなる開拓
- HBW(耐力面材)の拡販
- 省施工製品の拡販、材工販売(施工付き販売)の拡大
✓ 職人不足への対応
- 非住宅市場の開拓

連結業績予想のポイント（セグメント利益）

(百万円)

木質建材事業

前期比 +1,750 百万円
(— %)



- 販売量の回復
 - ✓ 増産により製造単価を低減
- 生産性向上、コストダウン
 - ✓ 原材料・製造工程の見直し
 - ✓ 合格率・歩留まりの向上
 - ✓ 固定費の低減
 - ✓ 配送効率の向上
 - ✓ 製品在庫の削減

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

31

貸家市場の開拓

比較的堅調な推移が見込まれる貸家市場の開拓に注力し、
新築戸建以外の事業領域へのシフトを加速する

前期は、貸家市場向けの売上高が増加

さらなる開拓を推進するため各種施策に取り組む

- シャーオンの拡販
 - － 防音フロアや他の内装建材も合わせて提案
- 新たな省施工製品の投入
 - － 職人不足への対応、工期短縮
- 組織再編
 - － RC造の攻略にも注力できる体制の整備

木造賃貸・非住宅物件への
新たなご提案 新床工法
誕生

木造遮音
防火工法 **シャーオン**
SH-AON

ノダ、旭化成建材、オーシカの三社共同開発新工法

気になる“生活音”を
大幅カット!
遮音

NODA
防音フロア・
衝撃吸収フロア

AsahiKASEI
遮音・防火床下用材 ALC 遮音/防火
ユカテック
ユカテックW

細組・横太レス工法
施工法

防火

省施工
ユカテックに
接着剤を塗布して
ノダ防音フロアを貼るだけ

SHIKA
セレクティ UR-145
(ワレタン樹脂系接着剤)

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

32

HBW（耐力面材）の拡販

2025年4月施行の法改正を見据え、優れた耐震性能や透湿性能を持つMDF製品「HBW」（構造用ハイベストウッド）の提案を強化

4号特例の見直し ‹‹建築基準法の改正››

構造審査の省略などの特例対象が縮小

➔ 構造審査が必要な木造建築物が増える



実物大住宅モデルによる耐震性能実験

震度7の強い揺れで



倒壊 & 破損なし

省エネ設備(太陽光パネル等)の搭載、断熱材の増加などが見込まれる

➔ 建物の重量化に伴い、より高い構造強度が求められる

➔ 結露を防ぐため、湿気を屋外に排出しやすい面材が求められる

省エネ基準適合義務化 ‹‹建築物省エネ法の改正››

湿気を通し、腐食やシロアリにも高耐性

HBWの湿気を逃す力

No.1

木質系面材

流通（問屋、販売店）を巻き込み、大工・工務店向けに引き続き全国各地で積極的にセミナーを開催

➔ 繰り返し地震に強い「HBW」のさらなる拡販を推進



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

33

合板事業

2025年11月期

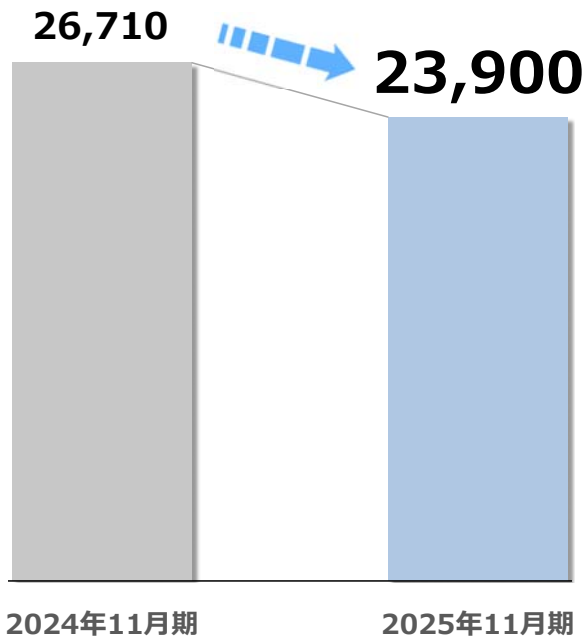
NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

34

連結業績予想のポイント（売上高）

(百万円)



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

35

合板事業

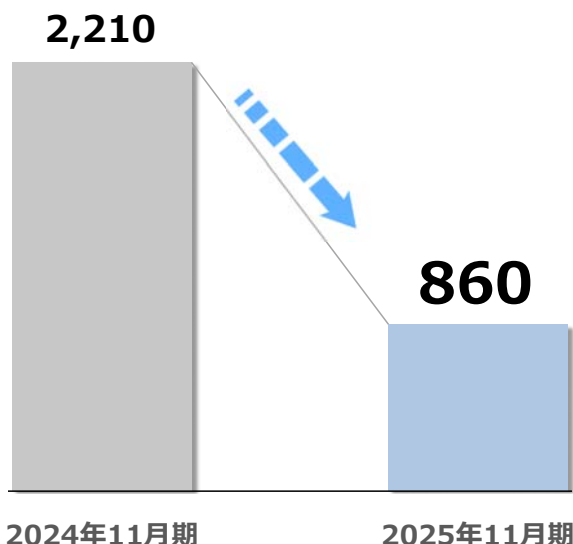
前期比 ▲2,810 百万円
(▲10.5%)

・販売価格は横ばいで推移する見込み

- ✓ 前期の期初との価格差により減収
- ✓ 12月に入り、国産針葉樹合板に底打ち感が出始めた
- ✓ 適正な価格と在庫水準の維持に努める

連結業績予想のポイント（セグメント利益）

(百万円)



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

36

合板事業

前期比 ▲1,350 百万円
(▲61.1%)

・販売価格は横ばいで推移する見込み

- ✓ 前期の期初との価格差により減益
- ✓ コストに見合った適正な価格設定に努める

中長期的な成長戦略

ビジョン2030

「ビジョン2030」策定の背景

- 国内人口・世帯数の減少と少子高齢化・長寿命化
 - 新設住宅着工戸数の減少
 - 施工を担う職人の減少
 - 安全な住空間の需要が増加

➡ 新築住宅向け建材事業領域は、徐々に縮小する見込み

コロナ禍や住宅価格上昇により、市場の縮小が前倒しで顕在化

ビジョン2030「木の心地よさを住まいから様々な空間へ」

- 住宅市場での競争力を強化し、シェア拡大
 - 新たな市場を開拓し、事業領域を拡大
- ➡ 持続的に成長し、社会に貢献する企業であり続ける

取り組み中の主な施策

住宅向けシェア拡大

- 省施工・高意匠性など高付加価値製品の開発・提案強化
- HBW提案強化（ZEH普及、地震対策）
- 貸家市場、リフォーム・リノベーション市場の開拓
- 材工一貫体制の整備・拡大（株ナフィックスの事業拡大）
- Web・SNSを活用したブランド力強化

非住宅向け事業領域拡大

- UD製品（高齢者施設・幼保施設向け）の拡充・提案強化
- 公共・商業施設の市場開拓に向けたマーケティングの推進
- 素材（合板・MDF）の研究開発推進（機能強化、用途拡大）
- 材工一貫体制の整備・拡大（株アリモト工業との連携強化）

取り組み中の主な施策

経営基盤の強化（人材・IT投資）

- 人事制度の見直し（各種手当、待遇改善）
- 職場環境の改善
（ハラスメント相談窓口の設置・運用、サポーター研修※、設備改修）
- 人材の育成（各種研修・勉強会）
- ITの活用（業務の効率化・省力化）

※詳細は46ページ参照

- ✓ 住宅需要や合板相場に左右されにくい体制の構築を目指す
- ✓ ビジョン2030実現のため、今後も必要な成長投資を行う

施工分野の強化

深刻化する職人不足の解決に貢献するため施工分野を強化し、住宅市場のシェア拡大と非住宅市場への事業領域拡大を目指す

住宅市場

(株)ナフィックス：材工販売(施工付き販売)のエリア・キャパ拡大

- ・施工人員の確保や投資
- ・各地域の施工業者・販売店との連携強化

省施工製品のさらなる開発・拡販



NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

非住宅市場

(株)アリモト工業との営業・施工分野での連携強化

【事例】

- ・アリモト工業が請け負ったウッドデッキ改修工事をナフィックスが施工支援
- ・外構に関する知見・スキルを高め、さらなる支援の強化を図る



41

配当予想

2025年11月期

NODA

© 2025 NODA CORPORATION All Rights Reserved

42

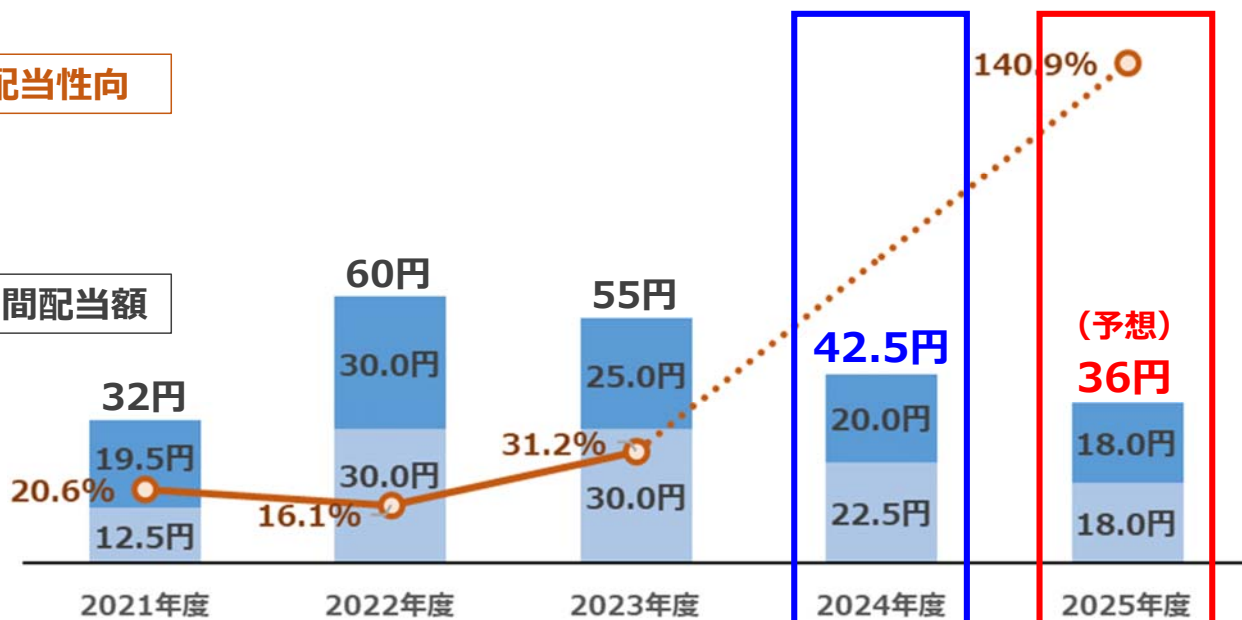
配当金の推移（直近5年間）

配当の基本方針：安定配当

- ・業績の状況及び配当と内部留保のバランスに配慮しながら、配当の安定性を確保するとともに、株主の皆様への利益還元を行う
- ・内部留保金については、財務基盤の充実強化並びに今後の事業展開に役立てる

配当性向

年間配当額



ESGに関する取り組み

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Environment

【国産材の活用】

健全な森林の整備と CO₂の削減に貢献

MDFや国産針葉樹合板の原材料として国産材(間伐材・未利用材等)を積極的に活用



【廃木材の活用】

森林資源の保護に貢献

再生資源・未利用資源である廃木材をチップとしてリサイクルし、エコ素材であるMDFを製造



住宅解体作業等から出る
廃木材チップ

ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social 【職場環境の改善】

【目的】社員一人ひとりの働きがい向上
風通しの良い主体性のある職場風土の実現

学び舎

若手や未経験者を中心に必要なスキルの習得と業務効率向上を目指し、勉強会を定期的実施



サポーター研修※

若手社員への助言や指導、精神的なサポートを強化し、未来を担う意欲ある人材を輩出

※一般的には「メンター研修」と呼ばれるものを当社では「サポーター研修」という名称で実施

有資格者待遇改善

事業の正常な運営、社員のモチベーション向上を目指し、業務に必要な資格を取得した際の手当や祝い金を贈呈



ESGに関する取り組み

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social

静岡県「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力

植栽林を潮風や砂から守る木杭材料として、合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を寄贈し、地域社会に貢献(累計97,560本、2025年1月末時点)



本取り組みが貢献するSDGsの目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Governance

理念・ビジョンの浸透

- ・経営トップ自らが継続して社内に発信
- ・ビジョンの実現に向け、テーマ別に戦略の立案・推進を実施



参考資料

「ビジョン2030」経営理念

現在ならびに将来の様々な環境変化に対応し、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、2021年2月に経営理念を改訂

ビジョン2030 木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】 社会に果たすべき使命

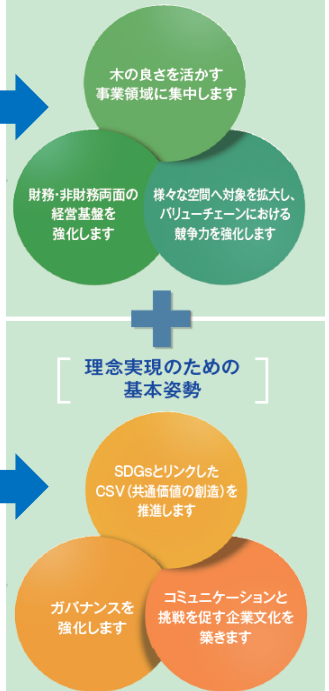
- ・木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
- ・木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】 理念実現のための共通の価値観

共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



ビジョン2030実現のための経営戦略



「ビジョン2030」環境への取り組み

快適な空間創造に寄与する製品を提供し、持続可能な森林循環に貢献し続けるため、SDGsの以下の目標達成に取り組む

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

11 住み続けられるまちづくりを

目標11
「住み続けられるまちづくりを」
誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任

目標12
「つくる責任つかう責任」
持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃棄資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を

目標13
「気候変動に具体的な対策を」
気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などクリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさも守ろう

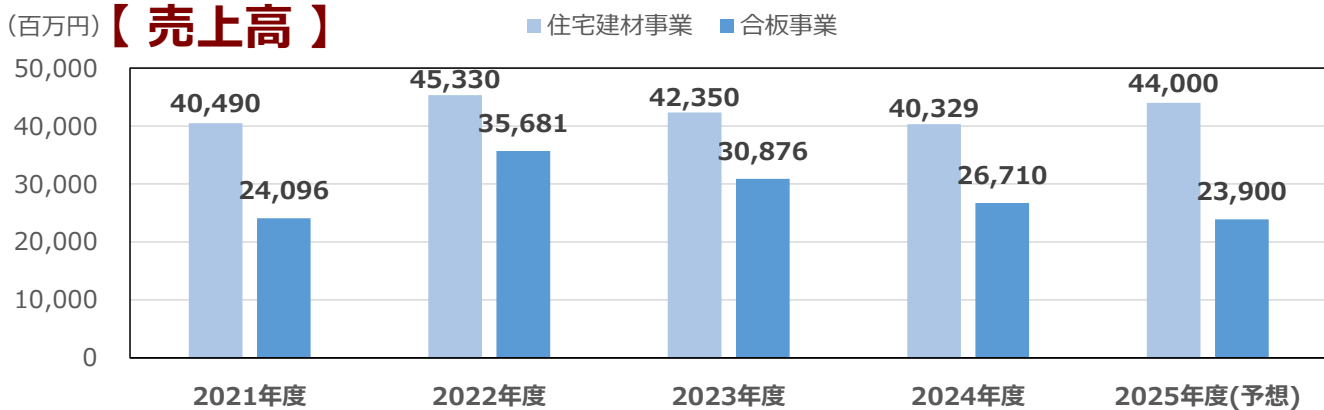
目標15
「陸の豊かさも守ろう」
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の糖林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

連結業績推移（直近5ヶ年）

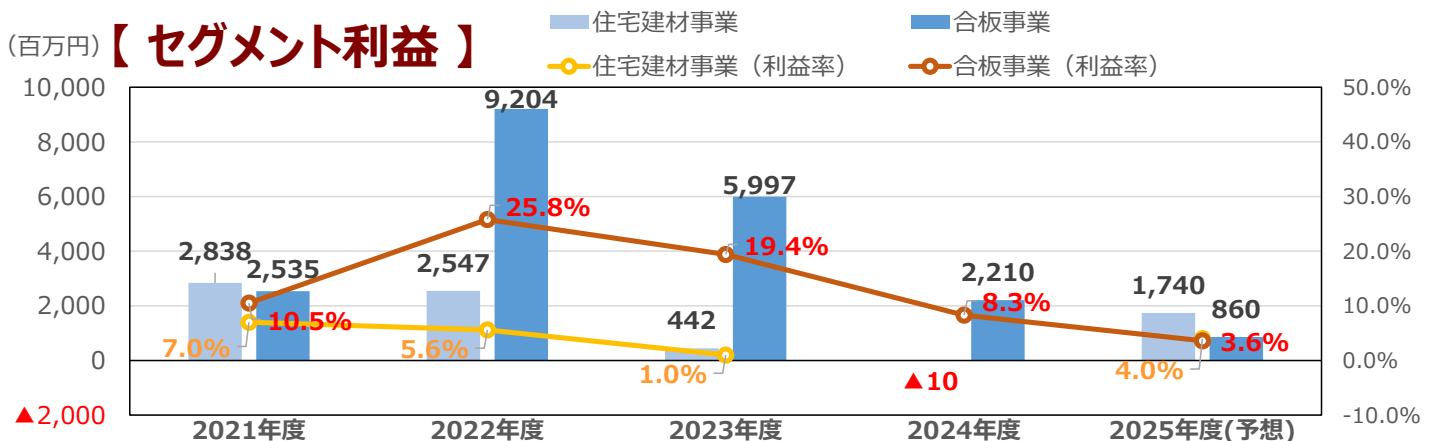
(金額単位：百万円)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予想)
売上高	64,586	81,012	73,227	67,039	67,900
営業利益	3,829	9,797	4,701	444	600
－営業利益率	5.9%	12.1%	6.4%	0.7%	0.9%
経常利益	4,243	10,332	5,019	675	800
－経常利益率	6.6%	12.8%	6.9%	1.0%	1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,535	6,056	2,834	▲4,612	400
ROE	8.8%	18.3%	7.6%	▲12.8%	—
総資産	63,998	76,632	76,371	74,182	—
純資産	33,503	40,730	44,041	38,922	—
自己資本比率	47.0%	47.1%	50.8%	45.2%	—
設備投資額	1,670	2,746	3,316	4,485	4,000
減価償却費	1,789	1,767	1,818	1,890	1,930
研究開発費	207	236	194	192	200

セグメント業績推移（直近5ヶ年）

【売上高】



【セグメント利益】



NODA

株式会社ノダ IR情報

<https://www.noda-co.jp/corporate/ir>



IRに関するお問合せ先 info-ir@noda-co.jp

本資料は情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
また、本資料に掲載されている計画や見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、今後様々な要因によって、本資料とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。